

# MVPに中村大斗選手

## 市総体 武術太極拳

第56回習志野市市民総合体育大会・武術太極拳の部が令和4年12月18日、東部体育館で開かれた。

MVPには国民体育大会ほかで活躍した中村大斗選手が選ばれた。

大会結果は次の通り。  
【団体表演の部】奨励賞



自選套路の部優勝・MVPの中村大斗選手



MIPの花樹惇人選手



第三套路の部優勝の織田心花選手



荒谷仁維・拳術コーチ



荒谷友碩・太極拳コーチ

### 全日本シニアバドミントン大会

#### 真鍋・阿山両選手が活躍

バドミントンの全国大会でShot'04所属の真鍋絹子さんと阿山博美さんが優勝を果たすなど活躍を見せた。

昨年11月に香川県など四国3県で開催された第39回全日本シニアバドミントン選手権大会では、真鍋さんは河野昌子さん(アイリス)とペアを組んだ70歳以上女子ダブルスで、阿山さんは吉田寛さんと出場した75歳以上混合ダブルスでも優勝を飾った。阿山さんは75歳以上女子ダブルス

【個人競技の部】  
▽一般の部 織田美穂② 吉川ゆみ  
▽初級套路の部 ①盛田彩実②原田旬③田邊佑里  
▽第三套路の部 ①織田心花②林愛斗③織田友花

▽自選套路の部 ①中村大斗②花樹惇人③織田七花  
④花樹惇人  
▽MVP 中村大斗  
▽MIP 花樹惇人  
(写真提供 習志野市武術太極拳連盟)

#### 女子一中・五中3位

##### 習志野市オープン中学生卓球大会

第41回習志野市オープン中学生卓球大会が2月12日、東部体育館ほかで開かれた。

3年ぶりとなるオープン大会には、関東各地から強豪校が集まり、男子32チーム、女子20チームが団体戦で競った。

男子決勝トーナメントには習志野から一中、七中、東邦中が進出。東邦中は2回戦で優勝した植竹中(埼玉)



男子ベスト8の東邦中



女子第3位の二中



女子第3位の五中

で第3位となった。

また、真鍋・河野ペアは12月に山梨県で開催された第17回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)では、2部シロロックで優勝した。優勝に「大きなケガもなくプレーしたのは初めてでした。元気であればご褒美があるんですね」とコメントした。

(写真提供 Shot'04)



阿山選手(左)と真鍋選手

## インディペンデンス勝利 習志野・八千代親善ソフトボール



優勝のインディペンデンス

第12回習志野・八千代親善ソフトボール大会が3月12日、袖ヶ浦運動公園で開かれた。

両市から8チームが参加し、トーナメント戦が行われた。決勝戦は藤崎オールスターズとインディペンデンスの習志野勢同士の戦いとなった。インディペンデンスは初回に3点、2回にも8点を加え、12-0で勝利した。

## 向山ファイターズ優勝 ラリー杯少年野球大会



優勝の向山ファイターズ

ラリー杯少年野球大会が2月18日と25日、香澄ふれあい公園ほかで開かれた。市内外の8チームによるトーナメント戦が行われた。決勝戦は磯辺シールドと向山ファイターズとの顔合わせとなった。向山は3回裏、田中の安打、浅野の三塁打、扇の内野安打などで3点を先制する。磯辺は4回表に1点を返すが、向山は5回裏にも田中、橋本の連続安打、扇の二塁打

①インディペンデンス②藤崎オールスターズ③FR-ENDS④秋津モーニングス  
(コナミ) ②川瀬剛  
▽男子C ①佐藤学②二村祐矢(袖ヶ浦)  
▽男子45歳以上 ①山根宏一(コナミ) ②縄田知明(袖ヶ浦)  
▽男子55歳以上 ①Kim Taeyoung②北澤義明(K2)  
▽男子65歳以上 ①粟津勝一郎(袖ヶ浦) ②石木俊治

### 男子A 金永選手V シングルの部

第56回習志野市市民総合体育大会のテニス競技・シングルの部が令和4年11月20日から12月11日まで秋津テニスコートほかで開かれた。

大会は男子7部門、女子5部門、ジュニア1部門の合計13部門で競われた。

部門別の優勝・準優勝は次の通り。  
▽男子A ①金永忠之(袖ヶ浦) ②住永寛人(袖ヶ浦)  
▽男子B ①片山和光

で2点を追加し、勝利した。

向山ファイターズの田中通馬キャプテンは「今年初めての公式戦。『絶対優勝』という気持ちで大会に臨みました。決勝戦の相手は強いチームでしたが、みんなが一丸となってプレーできたことがよかったです。準決勝戦以降の結果は次の通り。

#### 準決勝戦

向山ファイターズ 7-0 イース  
磯辺シールド 6-0 谷津サザグルス

#### 決勝戦

向山ファイターズ 5-1 磯辺シールド  
向山ファイターズ②磯辺シールド③袖ヶ浦ボーイズ④谷津サザナミ

### 少年野球連盟前会長 中川内氏に哀悼の意

習志野市少年野球連盟は3月8日に逝去された前会長の中川内由則氏へ哀悼の意を表すため、新大会の開会が予定されていた3月25日と26日の2日間、第一カッター球場正面入り口に焼香台を設けた。

中川内氏は鷺沼ジャイア



焼香に訪れた宮本市長



男子A優勝の金永選手(右)と準優勝の住永選手

ンツ(鷺沼イーグレット)と合併後、鷺沼マリーンズの監督・代表を務め、令和元年に少年野球連盟の第4代会長に就任。県連盟で副理事長を務めた。前期で退任し、松丸泰司氏に会長を引き継いだ総会から3日後、体調異変が治まらず、搬送先で帰らぬ人となった。葬儀は故人の意向で家族のみで執り行われた。

会場には千葉県や八千代市の連盟ほかからの供花が飾られ、中川内氏を偲ぶ在りし日の写真や、会長として開催した連盟創立50周年の記念大会などの様子が動画で紹介された。

桜は花を見たが、雨の降りしきる中、多くの少年野球関係者や元球児たちが故人を悼み、焼香に訪れた。